

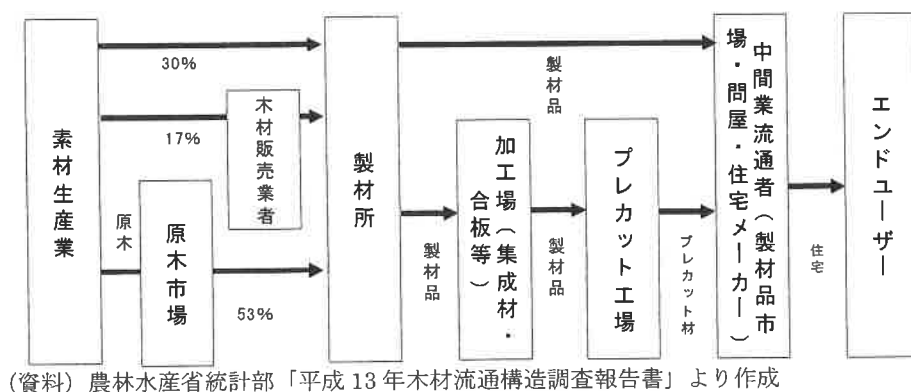
## II. 中国地域の木材流通・木質バイオマスに関する課題

### 1. 中国地域の木材流通に関する課題

#### (1) 木材流通システム全般の課題

全国における国産材の流通経路は、素材生産業で伐採・搬出された原木の約5割が原木市場を経由している。製材された製品は、加工工場やプレカット工場、製品市場などを経由し、エンドユーザーに届く多段階の流通構造となっている。

図表 II-1 国産材流通システムの全体像



このように木材流通システムは、多段階、複雑、零細であり、高コスト、価格不安定、非効率な流通形態であるため、品質・性能を確保し、低コストで安定的に供給するといった、より多様化、高度化している需要者ニーズに十分対応できていない。

林野庁においても、国産材流通システムの課題として、森林の所有規模が零細で生産・流通・加工が小規模・分散的・多段階であることを指摘しており、その結果、ハウスメーカー等のニーズに応じた製品の安定供給ができず、需要が低迷し、林業家への還元ができず、森林の手入れが進まないとしている。

図表 II-2 林野庁が指摘する国産材の流通システムの課題・問題点

- ・ 多段階であることにより、需要者のニーズが伝わりにくい
- ・ 多段階であることにより、流通コストがかかる
- ・ 市場が介在することにより、情報が分断される 等

(資料) 林野庁資料より抜粋整理

#### (2) 中国地域の木材流通に関する課題

近年、国際情勢の影響により外材の価格が相対的に上がってきており、国産材利用の期待が高まっているが、アンケート結果によると、国産材取扱の今後の見通しを「増加」と「やや増加」と答えた事業所は、森林組合が5割弱、原木市場は2割強、製材所等は4割弱と、流通過程で意見が分かれている。